

福島県農林水産業振興計画「ふくしま農林水産業新生プラン」について

平成25年3月25日
福島県農林水産部

第1章 総説

- 計画策定の趣旨** 東日本大震災及び原子力災害により、本県農林水産業・農山漁村をめぐる社会経済情勢が計画策定時の想定を超えて急激に変化していることを受けて現行計画の全面的な見直しを行う
- 計画の位置づけ** ■ 福島県総合計画の農林水産分野の計画
■ 福島県農業・農村振興条例第19条に定める基本計画
■ 本県農林水産業・農山漁村に関する各種計画の上位計画
- 計画期間** 平成25年度～平成32年度（8年計画）

第2章 農林水産業・農山漁村をめぐる情勢

《農林水産業・農山漁村をめぐる情勢変化》

- ◎ **東日本大震災及び原子力災害の発生**
 - ・ 多くの県民が避難、将来への強い不安
 - ・ 農林水産物の出荷制限、沿岸漁業の操業自粛
 - ・ 風評被害 等
- ◎ **安全・安心に対する意識の変容**
 - ・ 放射性物質の除去・低減・きめ細かな検査
 - ・ わかりやすく、正確な検査結果の公表 等
- ◎ **人口減少及び高齢化の進行**
 - ・ 避難による人口の流出
 - ・ 農林水産業担い手の減少の加速化 等
- ◎ **世界経済の一体化と多極化の進行**
 - ・ TPP交渉に関する交渉参加国との協議
 - ・ インターネット利用者の増加 等
- ◎ **地球温暖化の進行と再生可能エネルギーへの期待の高まり**
 - ・ 再生可能エネルギー源として農山漁村に存在する資源への注目の高まり 等
- ◎ **本県の特徴的な取組**
 - 除染
 - 絆づくり
 - 地域産業6次化

《福島県の農林水産業・農山漁村の特性》

- ◎ **広大な県土・豊かな自然条件**
- ◎ **有利な地理条件**
- ◎ **調和のとれた7つの生活圈**
- ◎ **ねばり強く、温かな県民性**
- ◎ **県民の意識**（平成24年度県政世論調査結果）
 - 農山漁村への期待
 - 農林水産物の購入に関する意識

《福島県の農林水産業の現状と役割》

- ◎ **東日本大震災及び原子力災害の発生**
 - ・ 地震・津波による施設等の損壊、農地の塩害
 - ・ 放射性物質による汚染 等
- ◎ **農業資源**
 - ・ 耕地面積の減少 利用不能農地の発生 等
- ◎ **森林資源**
 - ・ 森林整備の停滞 林道・林産施設の損壊 等
- ◎ **水産資源**
 - ・ 沿岸漁業の操業自粛 種苗生産施設の被災 等
- ◎ **農林水産業の就業者と産出額**
 - ・ 避難により経営継続が困難
 - ・ 産出額の大幅な減少 等
- ◎ **福島県の主要な農林水産物**（統計データ）
- ◎ **農林水産業・農山漁村の役割**
 - 食料や木材の安定供給
 - 地域経済への貢献
 - 地域社会の形成
 - 多面的機能の発揮

第3章 ふくしまの農林水産業・農山漁村をめざす姿

《基本目標》

“いのち”を支え 未来につなぐ
新生ふくしまの「食」と「ふるさと」

《子どもたちが社会を担う
将来においてめざす姿》

《めざす姿の実現に向けた
施策の基本方向》

- 東日本大震災及び原子力災害から復興を果たした農林水産業・農山漁村
- 消費者の期待に応え、安全・安心な農林水産物を提供する農林水産業
- 県民のくらしを支え、持続的に発展する農林水産業
- 多様な人が集う、いきいきとした活力ある農山漁村
- 美しい自然環境を次世代に引き継ぐ、環境と共生する農林水産業

- 東日本大震災及び原子力災害からの復興
- 安全・安心な農林水産物の提供
- 農業の振興
- 林業・木材産業の振興
- 水産業の振興
- 魅力ある農山漁村の形成
- 自然・環境との共生

第4章 施策の展開方向

東日本大震災及び原子力災害からの復興

- ◎ 避難地域における農林水産業の再生
- ◎ 生産基盤の復旧
- ◎ 被災した農林漁業者等への支援
- ◎ 放射性物質による影響の除去

安全・安心な農林水産物の提供

- ◎ 食の安全確保
- ◎ 信頼性の確保
- ◎ 「食」や「ふるさと」に対する理解促進

農業の振興

- ◎ いきいきとした農業担い手づくり
- ◎ 農業経営の安定
- ◎ 農業生産基盤の確保・整備
- ◎ 県産農産物の生産振興
- ◎ 流通・消費対策
- ◎ 新技術の開発と生産現場への移転
- ◎ 農業関係団体との連携

林業・木材産業の振興

- ◎ 森林資源の充実・確保
- ◎ 林業生産基盤の整備
- ◎ 県産林産物の振興
- ◎ 林業担い手の確保・育成
- ◎ 試験研究・技術開発の普及・定着
- ◎ 林業関係団体との連携

水産業の振興

- ◎ 漁業生産基盤の整備
- ◎ 漁業担い手の育成・確保
- ◎ 水産物の流通・加工対策
- ◎ 水産資源の持続的利用
- ◎ 試験研究・技術開発の推進
- ◎ 漁業関係団体との連携

魅力ある農山漁村の形成

- ◎ 農林水産業を支える絆づくり
- ◎ 都市と農山漁村との交流促進
- ◎ 地域産業6次化による農山漁村の活性化
- ◎ 快適で安全な農山漁村づくり
- ◎ 地域資源を活用した再生可能エネルギーの導入促進

自然・環境との共生

- ◎ 環境と共生する農林水産業
- ◎ 地球温暖化への対策
- ◎ 農林漁業・農山漁村が有する多面的機能の発揮
- ◎ 県民参加の森林(もり)づくり

第5章 重点戦略

避難地域における農林水産業の再生プロジェクト

- 農用地、森林等の除染と生産基盤の復旧
- 経営再開への支援
- 新たな経営・生産方式の導入

安全・安心な農林水産物供給プロジェクト

- 放射性物質検査の強化
- 安全性のPR・消費者からの信頼確保
- 安全性を高める取組の推進
- 環境と共生する農業の推進
- 地産地消の推進

ふくしま“人・農地”新生プロジェクト

- 地域をリードする経営体の育成
- 新規就農者の育成・確保
- 女性農業経営者の育成
- 農用地利用集積の促進

「ふくしまの恵みイレブン」強化プロジェクト

- 「ふくしまの恵みイレブン」の戦略的な生産拡大
- 「ふくしまの恵みイレブン」の重点的なプロモーション活動の展開
- 「ふくしまの恵みイレブン」の輸出再開・拡大

地域産業6次化の推進プロジェクト

- 新たな価値をもたらす地域産業の創出～しごとづくり～
- 地域産業を支える人材の育成と確保～ひとづくり～
- しごととひとを結びつける地域ネットワーク力の強化～きずなづくり～

みんなが安心。農山漁村防災・減災プロジェクト

- 農業用ダム・ため池等の耐震性の検証・確保
- 農業水利施設、農林道等におけるストックマネジメントの推進
- 保安林及び治山施設等の計画的な整備の推進
- 防災・減災体制の強化

ふくしまの森林(もり)元気プロジェクト

- 放射性物質に対応した森林の再生
- 新たな施業体系による森林整備の展開
- 県産材の安定供給と需要拡大
- 県産材フル活用に向けた施設の導入
- 林業就業者の確保・育成

水産業の活性化プロジェクト

- 漁船・漁業関連施設等の生産基盤の復旧
- 漁業再開の支援
- 漁業担い手の育成・確保
- 水産資源の維持・培養

地域資源を活用した再生可能エネルギー導入促進プロジェクト

- 農山漁村における再生可能エネルギー生産の推進
- 農林水産業・農山漁村における再生可能エネルギー活用の推進

第6章 地方の振興方向

県北

- ◎ 放射性物質による影響の除去
- ◎ 農林業の担い手の育成・確保
- ◎ 農業の振興
- ◎ 森林・林業の再生と木材産業の振興
- ◎ 都市との交流促進と農山村の活性化

県中

- ◎ 東日本大震災からの復興と安全・安心な農林水産物の提供
- ◎ 担い手の育成・確保
- ◎ 生産の拡大・産地体制の強化
- ◎ 農林業者と消費者や他産業との絆づくり
- ◎ 豊かな農山村の形成

県南

- ◎ 東日本大震災からの復興と源流の里にふさわしい農林業環境の維持・保全
- ◎ 消費者ニーズに応える産地づくりと地域の農林業を担う担い手の育成・確保
- ◎ 農林業と消費者をつなぐ絆づくりの推進
- ◎ 多様な主体との連携による農林業の活性化

会津

- ◎ 東日本大震災及び原子力災害からの復興
- ◎ 地域資源を生かした新たな仕組みづくり
- ◎ 地域の特色を生かした攻めの農林水産業の展開
- ◎ 守り育てる農林業と安全・安心な暮らしの確保

南会津

- ◎ 東日本大震災及び原子力災害からの復興
- ◎ 多様な担い手の育成・確保による園芸作物の振興
- ◎ 森林・林業・木材産業の振興
- ◎ 6次産業化、農林業と観光産業との連携推進
- ◎ 豊かな農山村の維持・保全

相双

- ◎ 放射性物質の影響の払拭
- ◎ 津波被災を考慮した農林地、農林漁業等施設の復旧
- ◎ 放射線の影響に配慮し、冬季温暖な気候を生かした農業の振興
- ◎ 森林の再生と新たな林業・木材産業の構築
- ◎ 良好な漁場を生かした水産業の振興

いわき

- ◎ 東日本大震災及び原子力災害からの復興
- ◎ 「サンシャインいわき」の農業・農村の振興
- ◎ 人工林の多いいわきの林業・木材産業の振興
- ◎ 「潮目の海」の水産業の振興
- ◎ いわきの安全・安心な農林水産物の提供と魅力ある農山漁村の形成
- ◎ 「森・大地・海」の循環による自然環境との共生

めざす姿の実現を図るため 計画期間内に重点的・戦略的に取り組む施策

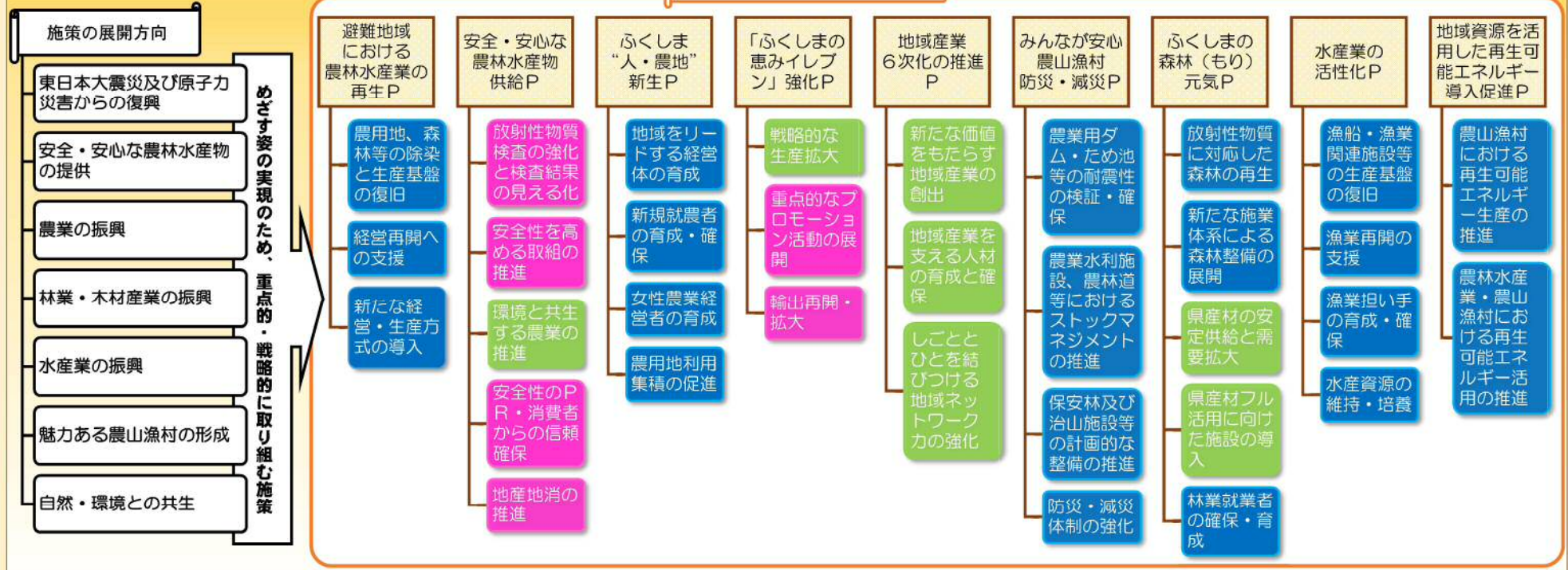
第7章 計画実現のために

- ◎ 様々な主体との連携、協力の強化
- ◎ 消費者、農林漁業者、関係者の相互理解と連携を深める「絆づくり運動(仮)」の展開
- ◎ 各種施策の進捗状況や成果を毎年点検・評価し、農林漁業者、消費者の声を的確に把握して着実かつ効果的に施策を展開

ふくしま農林水産業新生プランを踏まえた平成 29 年度の取組

ふくしま農林水産業新生プラン

重点戦略



平成 29 年度農林水産部の取組（コンセプト）

流通・販売の強化

- 安全な農林水産物の生産を強化し、さらに安心の提供につとめる
- 販路開拓と販売力の強化で攻める
- ふくしま県産の魅力を発信する
- オリンピック・パラリンピックへの福島県産農林水産物の供給をめざす



生産活動の拡大

- 生産性の向上（規模拡大・効率化）をすすめる
- 品質の向上と生産工程の明確化により市場競争力のある産地づくりをすすめる
- 農産物の高付加価値化により特色ある産地づくりをすすめる
- 地域産業6次化の推進により所得向上を図る
- 中山間地域資源を活かしたビジネスモデルを創出する



生産基盤の強化

- 被災地の生産基盤の復旧をすすめる
- 被災地の農林漁業の再開を支援する
- 農林水産業の生産基盤整備をすすめる
- 農林水産業の『人』を確保し、持続可能な環境をつくる
- 森林の再生、県民参加の森づくり活動を推進
- 魅力ある農山漁村の暮らしをまもる



食の安全を『守り』、高い品質で『攻める』“ふくしまプライド。”

一日も早い復旧・復興と力強い生産構造の確立

食の安全を守り、安心を提供し、販売量の拡大を図る

- 1 安全な農林水産物の生産を強化し、さらに安心の提供につとめる
 - モニタリングや米の全量全袋検査等により安全を確認し、検査結果を消費者等に正しく発信します。
 - GLOBAL GAPやJGAP、FGAP（ふくしま県GAP）などの取組を拡大し、消費者や流通販売関係者に安全性と信頼性をPRします。
 - 水産エコラベルの認証取得と鮮度保持による高付加価値化の取組を支援します。
 - 平成30年2月に（仮称）中央家畜保健衛生所を開所し、鳥インフルエンザなど、家畜伝染病発生防止対策の徹底と安心の確保に万全を期します。

2 販路開拓と販売力の強化で攻める

- 大手量販店等のバイヤーを通じて消費者ニーズを把握し、販売促進イベントを通して販売額や販売量の拡大を図ります。
- 長期かつ安定的な供給体制を強化し、『常設棚』や『旬に応じた棚』を確保します。
- 商談会の開催やバイヤーツアー等により多様な販路確保を図ります。



- オンラインストアを開設し、全国の消費者へ魅力を追いかけて販売の拡大を図ります。

3 ふくしま県産の魅力発信する



- 「ふくしまプライド。」のテレビCM等により県産農産物の魅力と生産者の誇りを幅広く消費者に発信します。
- 「ふくしまプライド。」フェアなど、旬を捉えて開催し、直接消費者等に魅力をうったえます。

4 オリンピック、パラリンピックへの福島県産農林水産物の供給を目指す

- 平成32年に開催される東京オリンピック、パラリンピックの食料調達基準である第三者認証GAPの取組を拡大します。
- 関連施設等への県産材利用に向けて、森林認証の取得などを推進します。

ニーズを正確にキャッチし、販売戦略の強化を図る

攻めの姿勢で農林水産業所得の向上を目指す

1 生産性の向上（規模拡大・効率化）をすすめる

- 担い手への農地の利用集積を進め、経営規模の拡大を図ります。
- 地域農業をけん引するプロフェッショナル経営体を育成します。
- 100ha規模のメガファーム育成に向けて、革新技術の現地実証に取り組みます。
- ICT等の革新技術の導入や施設の拡大を推進し、園芸品目の生産量の増加と長期安定出荷を目指します。



2 品質の向上と生産工程の明確化により市場競争力のある産地づくりをすすめる

- 「ふくしまイレブン」等の品質の高い農産物の生産や水産物の鮮度保持等による高品質化をすすめます。
- GLOBAL GAPやJGAP、FGAP（ふくしま県GAP）などの取組を拡大し、「日本一」を目指します。



3 農産物の高付加価値化などによる特色ある産地づくりを進めます

- 水稲の『天のつぶ』や『里山のつぶ』をはじめ、きのこオリジナル品種等の生産拡大を図ります。
- オーガニックの取組拡大と流通体制整備を支援し、産地体制の強化を図ります。

- 中山間地域等を中心に地域の特産である「そば（会津のかおり）」、「オタネニンジン（かいしゅうさん）」、「えごま」等の産地化をすすめます。

- 既存産地のブランドを保護する地域団体商標や長年培われた産品を地域の共通な財産として保護する地理的表示（GI）の取得を推進します。

4 地域産業6次化の推進により所得向上を図る

- 地域の豊かな農林水産資源を活用した新商品や新サービスの開発を支援します。

5 中山間地域資源を活かしたビジネスモデルを創出する

- 中山間地域において、企業との連携による地域資源を活用した新しいビジネスモデルを創出します。

販売戦略を踏まえた多様な生産活動を強化する

生産基盤と人づくりで力強い「農林水産業」の生産構造を確立する

1 被災地の生産基盤の復旧をすすめる

- 津波や地震で被災した農地、ダムやため池、漁港、漁場、林道、共同利用施設等の復旧を早急にすすめます。

2 被災地の農林漁業の再開を支援する

- 原子力災害による避難や操業自粛を余儀なくされた地域における農業、林業及び漁業の再開を支援します。



3 農林水産業の生産基盤整備をすすめる

- 農地の大区画化等の基盤整備、森林、林道等路網の整備、漁港や魚市場、生産に必要な共同利用施設等の整備、荒廃した林地の復旧をすすめて、力強い農林水産業ができる環境をつくります。

- 農業では、認定農業者や新規就農者、女性農業者の育成を図るとともに、地域農業の担い手となる法人の育成や企業の参入をすすめます。

- 地域農業の将来像を描く「人・農地プラン」の作成と実現に向けた取組を支援します。

- 林業では、従事者等の確保と育成をすすめるとともに、漁業では、後継者の就業を支援します。

5 森林の再生をすすめるとともに、県民参加の森林(もり)づくり活動を推進する

- 海岸防災林の復旧・再生や放射性物質の影響を受けた森林の再生をすすめます。

- 県民参加の森林(もり)づくり活動を推進するとともに、第69回全国植樹祭(平成30年6月10日)の開催準備をすすめて、復興に向かって歩み続ける福島県の姿を広く発信します。



6 魅力ある農林漁村の暮らしをまもる

- 日本型直接支払等を活用し、共同活動による地域環境や地域コミュニティの維持・向上を図ります。

- 市町村内の鳥獣被害防止対策をけん引するリーダー育成と市町村域を越える広域的な鳥獣被害防止対策の取組を支援します。

多様な生産活動を支える生産基盤を整備する

流通・販売の強化

生産活動の拡大

生産基盤の整備